

大人から子どもへ 心を伝える「あいさつ」を始めませんか?

「いってらっしゃい」を 伝えるしあわせ

～「あいさつ」ちょっといい話～

子どもたちの元気な声が聞こえなく寂しく思っていました…。今年4月から家の前を新小学生3人が通るようになりました。話し声が近づいてくると慌てて台所口から主人ともども飛び出して、「いってらっしゃい!!」と大声を掛けると、うれしそうに「いってきまーす!!」がにこにこで返ってくる。

網戸越しに声を掛けてくるときもあり、中から「いってらっしゃーい!!」。とてもすがすがしい気分になります。

松本市・70歳 女性



夏休みが終わり、登下校をする子どもたちの元気な声が皆さんの地域に戻ってきます。長野県では、お互いにあいさつをすることで、みんながつながり、地域を元気にして、地域ぐるみで子どもの育ちを応援する「信州あいさつ運動」を進めています。

あいさつが育む“あい”のまちづくり

昨年6月から長野市の篠ノ井駅前でのあいさつ活動や、たすき・のぼり旗による「篠ノ井あいさつ運動」を進めています。あいさつをする上で心掛けているのは「笑顔」。特に子どもたちに対しては、例えば試験の日だったら「今日は頑張つてね。」とちょっとした会話をするのも心掛けています。最近では、こちらのあいさつに応じて微笑んでくれる人やあいさつを返してくれる人も増えてきていて、成果が上がってきているのを実感しているところです。この「あいさつ運動」を通じて、篠ノ井地区全体が住民同士支えあい、認めあい、励ましあう、“あい”のある町になっていけばうれしいですね。



篠ノ井あいさつ運動実行委員長
ふじもと こうせい
藤本 光世さん



「篠ノ井あいさつ運動」の活動内容をご紹介します

○発足式で一致団結



昨年6月に地域住民など600人が集まり「篠ノ井あいさつ運動発足式」を開催。地元の幼稚園児、小・中・高校生も参加して、あいさつに対する意識の向上を図りました。

○地元高校生と駅前であいさつ運動を展開中



毎月11日の朝7時30分ごろから約20分間、地元高校生と有志の皆さんが集まって、篠ノ井駅で通勤・通学の方々に向けてあいさつを行っています。

○篠ノ井の各地区やPTAの皆さんとも連携



篠ノ井の各地区や学校には「あいさつ運動」ののぼり旗の掲揚を、PTAの方々には登校時の安心・安全パトロールの際に、「あいさつ運動」のたすき掛けをお願いしています。

このエピソードは県民の方から実際に寄せられた体験談です。「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」…。たった一言なのに、あいさつには人の心と心をつなぐ、不思議な力があります。そして、その一言が子どもたちと地域をつなぐきっかけにもなります。まずはご家族から、大人から、子どもへ心を込めてあいさつを試みませんか。

「あいさつ」ちょっといい話 募集中!

「あいさつ」に関わるほのぼの、さわやか、しあわせ…な「ちょっといい話」を県民の皆さまから随時募集しています。以下のFAXまたはメールにて、ぜひ応募ください。

毎月11日は「信州あいさつの日」

今年6月の長野県青少年育成県民会議理事会において、毎月11日を「信州あいさつの日」として決めました。毎月11日に、学校や駅周辺で、賛同団体によるあいさつ運動を行うことで、全県にこの運動が普及するように努めています。

賛同団体 募集中!

詳しくは「長野県青少年育成県民会議」まで

ご意見・ご質問
長野県に関するご意見・ご質問は、「県民ホットライン(知事への質問)」へお寄せください。

○いただいたご意見・ご質問のうち、回答を要するものについては、原則1週間以内に担当部局からお答えします。
○メール: hotline@pref.nagano.lg.jp

○FAX: 026-235-7026
○郵送: 〒380-8570 (住所記載不要)
企画振興部広報県民課(「県民ホットライン」と明記)

この紙面に関するお問い合わせは企画振興部広報県民課まで
●☎026(235)7054
●FAX026(235)7026
●メール: koho@pref.nagano.lg.jp